

十文字大生がいきいきと活動している姿を
たくさんの活動から抜粋してご紹介しています。

とことご通信

第1号



2024 . 3

不登校支援活動 とことこぷらすのへや

活動概要

- ・学校に行きづらい、行っていない小・中学生を対象として、毎週金曜日15時から18時に大学内で学習や体験活動の居場所づくりをしています。
- ・2024年4月からは認知トレーニングを取り入れる予定です。
- ・新座市教育委員会と連携し、教育支援センターとして位置付けられています。新座市在住の児童生徒は学校への出席扱いとなります。保護者や兄弟姉妹も一緒に参加しています。



クリスマス会に向けて、子どもたちが製作した手作り「ランプシェード」



広い芝生のグラウンドで、おにごっこやボール遊びをすることも



2023年8月に開催したオープニングイベント（2日間）には、不登校児童生徒、保護者、不登校親の会のメンバー、新座市と埼玉県の教育委員会、マスコミなど、2日間で総計171名の参加がありました。NHKの首都圏ネットワークで放送され、WEBニュースとしても掲載されています。

NHKWEBニュース（2023年8月8日）

<https://www3.nhk.or.jp/shutoken-news/20230808/1000095694.html>

活動実績

- ・2023年9月22日スタート。2024年2月16日までの約5か月間の実績は以下の通りです。※参加者は延べ数

登録児童生徒	16名	(小2から中2)
教室開催回数	15回	
参加児童生徒数	56名	参加保護者数 40名
参加兄弟姉妹	26名	参加者総数 122名



製作やボードゲームなどに集中するこどもたち。すこしずつ協同的な活動もできるようになってきています。



狐のお面の絵付けをしてみました。
年中さんから中学生まで。素敵なお面ができました。



算数が嫌いな子も数字カードを楽しんで製作してくれました。手作りカードを利用して数字ゲームを！

学生スタッフの声

学内から集まった有志ボランティアの6名の学生が
継続して子供たちの支援を行いました。

人見知りで、初対面の方と
話すことが苦手でしたが、
笑顔でいると子どもの方が
話しかけてくれました。
とことこに来てくれる**子どもたちの笑顔を見られること**
がこの活動の一番の**魅力**
だと感じています。(文芸
文化3年)

不登校支援にずっと興味か
ありました。自分のペース
でみなとことこに通ってく
れていて居場所を作れてい
るという実感があります。
子どもたちは初めて来た時
と今で全然表情も違ってい
て本当の良さを引き出せて
いる感じがします。
(社会情報デザイン3年)

★自らの体験を生かして

★活動の効果を実感

★自分自身も成長

人見知りの子どもたちが、時間をか
けて距離を詰めてくれるようになり、
やりがいを感じました。
周りに馴染めない子やお絵描きが
好きな子など、子どもに合わせて対
応の仕方を深く学ぶことができまし
います。学校の悩みを話してくれる子も
子どもに寄り添い、**学校に行けず、悩んでいる**
時間を過ごし、培った技術を将来に
活かしていきたいと思います。
(人間福祉 1年)



学生スタッフの声

2023年9月から2024年2月まで、15回の活動を通じた学生スタッフの感想です。

私はもともと教員免許をとりたくてこの大学を選びました。ボランティア募集があり最初は自分でもできることがあるのか不安でした。でも、参加する中で子どもたちの表情が明るくなっていくのを目にしたり、頼りにされたり、少しずつ自分にもできていこうと思えるようになりました。ボランティアに関わるみんなのあたたかさ、自分がしていること以上のたくさんのものをもらっています。
(心理 1年)

教員を目指していますが、実際に子どもと関わると、すべての子どもに必ず長所があることがわかりました。教員になったら、子どもの長所を見つけてそれを伸ばせるようなクラス運営をしていきたいと思いました。
(児童教育 4年)

★将来の目標に向けて

★教職、心理職、児童福祉など

★子どもたちから学ぶ

私は元々子どもが苦手でしたが、活動していくにつれ子どもたちの目線に立って共に考え、寄り添うことが出来るようになりました。子どもたちひとりひとりの特性や、発達に合わせて柔軟な対応が必要なので少し大変な部分がありますが、子どもたちの楽しそうな顔を見ると元気をもらえます。とことこぷらすのへやのボランティア活動は、将来教育業界を志望する人だけでなく、発達心理学や児童福祉に興味を持っている人にもおすすめです。
(心理 2年)



とことこぷらすのへや クリスマス会

この日のために、ランプや作品をつくり、お部屋の飾りつけもがんばりました。

支援団体様から、みかんや児童書などをいただき、大よろこび！

子どもたちがトッピングしたロールケーキでお祝いを。

手作りクラッカーは大人気！笑顔あふれる素敵なクリスマスでした。



こどもの貧困・子育て支援活動 ひとり親・多子世帯パントリー

活動概要

- ・こどもの未来応援基金の助成を受けて実施しています。食品や日用品、コスメなどを2か月に1回お渡しする活動です。
- ・十文字学園女子大学で開催しており、駐車場も使えます。
- ・高校生までのお子様の子育て中のひとり親世帯または多子世帯（お子様3人以上）を対象としています。
- ・十文字学園女子大学生生活環境研究所が実施しています。
- ・運営は、児童教育学科星野ゼミ、人間福祉学科の「幸せ居場所ネットワーク」（学生有志）、人間福祉学科矢野ゼミ、科目「地域で学ぶ」を受講している学生などが協力して行っています。

2023年度実績 5回開催 126世帯分配布 来場者 約350名



無料カフェコーナーでは 親子でくつろぐ姿が見られます。



いつも季節のフルーツを支援品に入れていきます。



お菓子輪投げや工作コーナーなど、こどもの遊び場や体験活動も大人気です。

こどもの貧困・子育て支援活動 栄4丁目フード・コスメパントリー

活動概要

- ・ **こどもの未来応援基金**の助成を受けて実施しています。食品や日用品、コスメなどを2か月に1回お渡しする活動です。
- ・ 栄4丁目商店会のフリースペース「たまりば」で開催
- ・ 高校生までのお子様の子育て中の方で、食支援が必要な方を対象としています。
- ・ **十文字学園女子大学生活環境研究所**が子ども食堂を運営している**まぜこぜたい**（代表：大内巖兎）と共催で実施しています。
- ・ 運営は、「まぜこぜたい」のボランティアさんたちと、児童教育学科星野ゼミ、人間福祉学科の「幸せ居場所ネットワーク」（学生有志）、人間福祉学科矢野ゼミなどが協力して行っています。

2023年度実績 5回開催 286世帯配布 来場者 約630名

「まぜこぜ食堂」の「まぜこぜたい」と十文字学園女子大学が合同で開催します！

子育て応援
フード・コスメパントリー

2023/1/14(日) 15時 整理券配布
15時半～17時

対象 高校生までのお子様をお持ちの方
整理券配布時に、①氏名 ②住所 ③携帯番号
④お子様の学年 のご記入をお願いします。

会場 栄四丁目街仲マルシェ (たまりば)
新座市栄4-6-8
天沼マーケットバス停近く
※商店会駐車場はありますが数が限られています。

内容 ①JA新鮮野菜、レトルト食品など
②コスメセット、生理用品など

その他 ※お菓子、お遊びコーナーあります。
※レンジのご用意があります。
※品物がなくなり次第終了します（ごめんなさい）。
※お申込み時の記載内容に虚偽の疑いがあるときはご利用をお断りすることがあります。

食品日用品等
無料配布



チラシはSNSで発信。
参加者は公式LINEに登録して
いる方が大半を占めています。

お菓子の提供も輪投げやお菓子つかみ
ゲームで。



笑顔でお声をかけながら
お渡ししています。



地域団体の方が助っ人でお
手伝いしてくださることも。

こどもの居場所づくり・自然体験活動 森のプレーパーク

活動概要

- ・2021年度から毎年11月・12月・1月に、大学構内の「十文字の森」で開催している、こどものための「冒険遊び場」です。
- ・小学生までのこどもや保護者、また年齢に関係なく近隣の皆様にもご参加いただいています。
- ・十文字学園女子大学生生活環境研究所が実施しています。
- ・運営は、プレーリーダーさんのご指導のもと、児童教育学科星野ゼミ、人間福祉学科の「幸せ居場所ネットワーク」(学生有志)、人間福祉学科矢野ゼミ、大山ゼミなどが協力して行っています。
- ・やきいも、焼きマシュマロ、ビー玉を炭火で焼いて作るキラビーアクセサリー、森の工作、モンキーロープ、秘密基地、竹を切って作る竹でっぼうなど。1月にはHUGネットも工作コーナーを開設して大人気となりました。

2023年度実績 3回開催 来場者 239世帯 約750名



落ち葉プールではちびっこが何度もジャンプ！



やきいも、焼きマシュマロは大人気。マシュマロは七輪で焼きます。



人間福祉学科の「森の工作」コーナーのスタッフ



中央の炭火でやきいもが焼きあがるのを待ちます。

しあわせ居場所ネットワーク 「ハピネス」

活動紹介

子どもの遊びを“まんなか”に幸せをお届けします！

人間福祉学科の学生が企画・運営を行っているボランティア団体です。地域や他機関との交流を行いながら企画運営をしています。

通称“ハピネス”と呼ばれ「ハ（happy 幸せ）、ピ（place：居場所）、ネ（network：つながり）、ス（三単現のS：みんなで創る）」という理念のもとに運営しています。定期的な勉強会もあり、子どもの権利について理解を深めることや、地域のつながりを支援する活動などのフィールドワークも行っています。

十文字の森プレーパーク

森のプレーパーク：年3回
(11月・12月・1月)

十文字の森には自然物がいっぱい！
森のビンゴやマラカス、リースづくり
など、子どもが思い思いに工作する
ことができる森の工作コーナーを行っ
ています。

世界に一つだけのアートの完成です！





野火止4丁目集会所 “あそびば”

あそびのアウトリーチ：不定期開催

色々なおもちゃや素材・材料を用意して、大人も子どもも自由に遊ぶアウトリーチを開催しています。
量や大きさ、色などを自分で決めて、手を動かして考えながら遊ぶことって面白い！

いつの間にか、子どもたちだけでなく、お母さんお父さんたちも遊びに夢中になっています！



バディウォーク東京 for all

チャリティイベントの参加：年1回

障がいのある・なし、年齢、国籍、職業…いろいろな個性が、私たちの社会を彩り、誰もが気軽に、楽しく参加できるチャリティイベント。

「共に生きること」「お互いを知ること」の心の壁を少しずつ取り除いていけたら・・・のイベント理念に共感し、学生が十文字学園女子大学ブース（ユニバーサルデザインのあそびワークショップ）を出展しています！





プラスちゃん
くらぶ
2023年度の活動

SDGsのワークショップの実施

志木市立いろは遊学館で開催された
「第2回 いろはSDGsのつどい」にて
会場の方にクイズを出題

問題1

・スマホやパソコンの中に入っている半導体
などに使われる貴重な金属をなんと呼ぶ？

② レアメタル

使わなくなった電子機器をリサイクルすること
で回収することができる。日本では鉱物資源
のほぼすべてを輸入に頼っている。

問題1

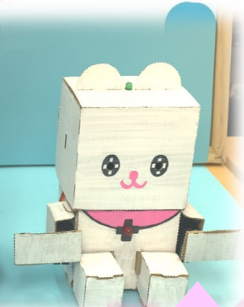
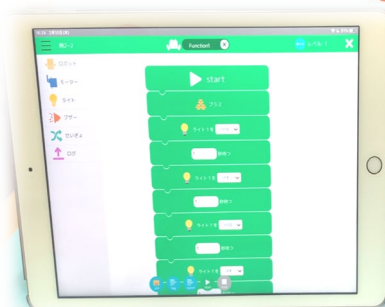
・スマホやパソコンの中に入っている半導体
などに使われる貴重な金属をなんと呼ぶ？

- ① デジタルデバイド
- ② レアメタル
- ③ ICチップ



子どもを対象にしたワークショップの実施

ペットボトルランプ作り・水引アクセサリ作り・バスボム作り・プログラミング など



地域イベントへの参加

プラスちゃん出動



子育てイベントへの参加

プラスちゃんの出動・イベントの協力

ノベルティの
デザイン協力

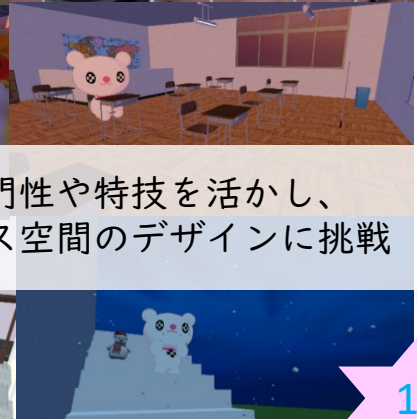


企業と連携したイベントの実施

3次元の仮想空間メタバースの体験会



さいたまスーパーアリーナで開催された「SAITAMA子育て応援フェスタ」で、埼玉県少子政策課と連携し、埼玉県にちなんだ謎解きイベントを企画・実施



学科の専門性や特技を活かし、メタバース空間のデザインに挑戦

ふるさとの緑と野火止用水を育む会 (HUGネット)

活動概要

- ・ HUG(ハグ)ネットは、新座市において野火止用水や雑木林などの環境保全、観光支援、子ども自然活動などに取り組んでいる15団体と、新座市の関係各課を十文字学園女子大学がハブとなってネットワーク化した団体です。
- ・ 2014年に3月に設立され、10年目を迎えています。
- ・ A自然環境保全 B子どもの自然体験活動 C研修 D川体験 Eポタル育成・放流 の5つのプロジェクトチームがあります。
- ・ 2022年に彩の国環境大賞 優秀賞を受賞しました。



- ・ 2023年4月23日(日)西分集会場近くの野火止用水でポタルの放流会を開催しました。
- ・ ヘイケポタルを中心に約500匹を野火止用水に入れて放流しました(ゲンジポタルは4月初旬に160匹放流)。
- ・ 参加者 HUGネットメンバー等 20名、学生10名、教員1名
- ・ 5月半ばにはたくさんのゲンジポタルの飛翔が観測され、すでに自生している可能性が高いと考えられます。

所属団体（2024年3月現在）

- ①川爺 ②野火止用水美化ピカ隊 ③環境保全協力員の会
- ④新座市グリーンサポーター ⑤雑木の会 ⑥チーム・キャロット
- ⑦野火止ホテルの里を作る会 ⑧畑中ホテル愛好会 ⑨西分町内会
- ⑩新座市観光ボランティアガイド協会 ⑪サンアール10
- ⑫新堀一丁目町内会 ⑬特定非営利活動法人オハナプロジェクト
- ⑭新座稲門会 ⑮野火止緑道環境保全ボランティア あかねこくらぶ

野火止用水クリーンデー 2023年10月10日 参加者36名 学生1名 教員1名

- ・ 埼玉県「プラゴミゼロ運動」に参画し、野火止用水沿いのごみ拾い、併せてアジサイ等の剪定作業を行いました。
- ・ 学生の参加は1名でしたが、教員とともにアジサイチームとして伐採した枝の片付けなどを熱心に行いました。
- ・ 予定したおよそ100株のアジサイは全て刈り取ることができました。



森のプレーパーク 森の工作 2024年1月27日

- ・ 1月開催の「森のプレーパーク」にHUGネットコーナーを開設しました。
- ・ たくさんの親子が集い大人気コーナーとなりました。



工作の材料もたくさん用意していただき、楽しい作品ができました。写真左は完成した作品の一部。



十文字学園女子大学
地域連携共同研究所

表紙イラスト：野口愛加（心理学科1年）